

# 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(株)八尾サービス

## 〈基本方針〉

当社は、令和3年度より富山市の公共施設である 八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、八尾パインパーク、八尾サンパーク、八尾ゆめの森交流施設の新たな指定管理者として管理運営業務を展開し、更に富山八尾中核工業団地の土地管理業務等の自主事業を行い、収益確保に努める所であります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された年でありました。今年1月に発表されました日本銀行の「さくらレポート」によりますと、北陸地域の景気は「厳しい状態にあるが、持ち直しつつある」とされております、しかし旅行取扱、ホテル、旅館の宿泊者数は、持ち直しの動きが一服しており、引き続き厳しい状況にあると発表されました。

当社の事業主体である、温泉宿泊施設「ゆうゆう館」においては、コロナ過の影響による国の「GOTO トラベル」の一部停止や外出自粛の影響で宿泊客が減少、更に企業や団体の会合自粛による宴会の激減等により、収入面では非常に厳しい状況が続き、市より多額の融資を受けて運営を行っている状況であります。

政府は、この2月よりすでに医療従事者に対してワクチン接種を開始しましたが、秋頃から全国的に収束の兆しが現れれば、経済も復活し客足の伸びも期待することが出来る所です。

少しでも収益を上げるためにも、客待ちの姿勢から積極的な営業や販売を行うことが大切であり、そのためにも令和3年度から始まる、経営改善計画の新しい企画を含むアクションプランを実施し、早期に実績を出すことが大切であります。

今後も、県内外に情報発信を行い若者層の取り込みを積極的に行い、お客様目線で安心・安全なサービスの提供を心掛け、リピート率の向上や利用し易い施設となるよう努め、少しでも収益目標に近づけるように努めたいと考えております。

これからも、地域に親しまれ信頼される企業を目指し、公益性に配慮しながら柔軟な発想を取り入れ、公的施設の管理運営、自主事業活動の推進を柱に、市民サービスの向上に取り組み、地域の発展に寄与してまいりたいと考えております。